

# 準同型暗号 CKKS 方式の理論と実装 基本編

## 1. Coeff 方式 encode/decode

0917laplace

October 5, 2025

# 関連アウトプット

Qiita

https:

[//qiita.com/0917laplace/items/cc283ccfa645c74ff70c](https://qiita.com/0917laplace/items/cc283ccfa645c74ff70c)

# 目次

- ① 数学の準備
  - ① 整数環
  - ② 多項式環
  - ③ 円分多項式
- ② Coeff 方式 Encode/Decode
  - ① 概要
  - ② 前提
  - ③ 理論的枠組み
  - ④ 具体例
  - ⑤ アルゴリズム

# 数学の準備

## ① 数学の準備

- ① 整数環
- ② 多項式環
- ③ 円分多項式

## ② Coeff 方式 Encode/Decode

- ① 概要
- ② 前提
- ③ 理論的枠組み
- ④ 具体例
- ⑤ アルゴリズム

# 整数環

## ① 数学の準備

### ① 整数環

### ② 多項式環

### ③ 円分多項式

## ② Coeff 方式 Encode/Decode

### ① 概要

### ② 前提

### ③ 理論的枠組み

### ④ 具体例

### ⑤ アルゴリズム

# 二項演算・環

## Definition (二項演算)

$S$  を集合とするととき,  $\circ : S \times S \rightarrow S$  なる写像を  $S$  上の二項演算という.

## Definition (環)

$R$  を集合とし,  $(+, \cdot)$  をそれぞれ  $R$  上の二項演算とし, 以下の条件を満たすとき,  $R$  を環であるという ( $x, y, z \in R$ ):

- ①  $(x + y) + z = x + (y + z)$
- ② ある元  $0 \in R$  が存在し,  $x + 0 = 0 + x = x$
- ③  $x$  に対して, ある元  $-x \in R$  が存在し,  $x + (-x) = (-x) + x = 0$
- ④  $(x \cdot y) \cdot z = x \cdot (y \cdot z)$
- ⑤ ある元  $1 \in R$  が存在し,  $x \cdot 1 = 1 \cdot x = x$
- ⑥  $x(y + z) = xy + xz, (x + y)z = xz + yz$

# 整数環

## Example (整数環)

$\mathbb{Z}$  を整数全体の集合とし,  $(+, \cdot)$  をそれぞれ  $\mathbb{Z}$  上の足し算・掛け算とすると,  $\mathbb{Z}$  は環となり, 特に整数環と呼ばれる.

群や環といった代数構造は

- どのような集合か？
- その集合にどのような演算が定まっているのか？

の 2 点を意識する (っていうかそれが定義)

# 整数環の剰余環

## Definition (整数環の剰余環)

$\mathbb{Z}$  を整数環,  $n$  を 2 以上の正整数とし,  $\mathbb{Z}/n\mathbb{Z} = \{0, 1, \dots, n-1\}$  を 0 以上  $n-1$  以下の整数全体の集合とするとき,  $(+, \cdot)$  をそれぞれ  $\text{mod } n$  における  $\mathbb{Z}$  上の足し算・掛け算とすると,  $\mathbb{Z}/n\mathbb{Z}$  は環となり, 特に整数環の剰余環と呼ばれる.

計算機科学的な視点による, 剰余環を考える意義

計算機にはリソースが限られているため, 「無限に大きい」数は扱えない

→ 剰余環を考えて, 整数の「大きさ」に制約を持たせることで, 計算機上で扱えるようにする



# 整数環の剰余環

## Remark (整数環の剰余環)

$\mathbb{Z}$  上の足し算・掛け算を  $(+, \cdot)$  のように表記し,  $\mathbb{Z}/n\mathbb{Z}$  上の足し算・掛け算を  $(\oplus, \odot)$  のように書くことにする. このとき,  $x, y \in \mathbb{Z}/n\mathbb{Z}$  に対して,  $x \oplus y = (x + y) \bmod n$ ,  $x \odot y = (x \cdot y) \bmod n$  のように定まる.

## Example (整数環の剰余環)

$n = 6$  とするとき,  $\mathbb{Z}/n\mathbb{Z} = \{0, 1, 2, 3, 4, 5\}$  である. このとき,  $2 \oplus 4 = 0$ ,  $3 \oplus 5 = 2$  であり,  $2 \odot 4 = 2$ ,  $3 \odot 5 = 3$  である.

$n = 7$  とするとき,  $\mathbb{Z}/n\mathbb{Z} = \{0, 1, 2, 3, 4, 5, 6\}$  である. このとき,  $2 \oplus 4 = 6$ ,  $3 \oplus 5 = 1$  であり,  $2 \odot 4 = 1$ ,  $3 \odot 5 = 1$  である.

# 多項式環

## ① 数学の準備

- ① 整数環
- ② 多項式環
- ③ 円分多項式

## ② Coeff 方式 Encode/Decode

- ① 概要
- ② 前提
- ③ 理論的枠組み
- ④ 具体例
- ⑤ アルゴリズム

# 環上の一変数多項式

## Definition (環上の一変数多項式)

$R$  を環とし,  $a_0, a_1, \dots, a_{n-1} \in R$  とするとき,  
 $a_0 + a_1X + \dots + a_{n-1}X^{n-1}$  のことを  $X$  を変数とする  $R$  係数の一変数多項式という.  $a_{n-1} \neq 0$  であるとき, 多項式の次数を  $n-1$  と定める.

# 環上の一変数多項式環

## Definition (環上の一変数多項式環)

$R$  を環とし,  $R[X]$  を  $R$  係数の 1 変数多項式全体の集合とするとき,  $(\oplus, \odot)$  をそれぞれ以下で定める足し算・掛け算とすると,  $R[X]$  は環となり, 特に一変数多項式環という.  $(+, \cdot)$  はそれぞれ  $R$  で定まる足し算・掛け算とする.

$$(a_0 + a_1X + \cdots + a_{n-1}X^{n-1}) \oplus (b_0 + b_1X + \cdots + b_{n-1}X^{n-1}) \\ = c_0 + c_1X + \cdots + c_{n-1}X^{n-1}$$

$$c_i = a_i + b_i \quad (0 \leq i \leq n-1)$$

$$(a_0 + a_1X + \cdots + a_{n-1}X^{n-1}) \odot (b_0 + b_1X + \cdots + b_{n-1}X^{n-1}) \\ = c'_0 + c'_1X + \cdots + c'_{n-1}X^{n-1} + c'_nX^n + \cdots + c'_{2n-2}X^{2n-2}$$

$$c'_i = \sum_{\substack{j+k=i \\ j,k=0}} a_j \cdot b_k \quad (0 \leq i \leq 2n-2)$$

# 円分多項式

## ① 数学の準備

- ① 整数環
- ② 多項式環
- ③ 円分多項式

## ② Coeff 方式 Encode/Decode

- ① 概要
- ② 前提
- ③ 理論的枠組み
- ④ 具体例
- ⑤ アルゴリズム

# 円分多項式

## Definition (円分多項式)

$n$  を 2 べきとするとき,  $X^n + 1$  を  $2n$  次の円分多項式という.

次数が  $2n$  次の場合の定義 (一般性に欠く)

# 環上の一変数多項式環の剰余環

次数が  $n - 1$  以下の多項式に限定したい

## Definition (環上の一変数多項式環の剰余環)

$n$  を 2 べき,  $R$  を環とし,  $R[X]/(X^n + 1)$  を次数が  $n - 1$  以下の多項式全体の集合とする.  $(\oplus', \odot')$  をそれぞれ以下で定める足し算・掛け算とすると,  $R[X]/(X^n + 1)$  は環となる.  $(+, \cdot)$  はそれぞれ  $R$  で定まる足し算・掛け算とする.

$$(a_0 + a_1X + \cdots + a_{n-1}X^{n-1}) \oplus' (b_0 + b_1X + \cdots + b_{n-1}X^{n-1})$$

$$= c_0 + c_1X + \cdots + c_{n-1}X^{n-1}$$

$$c_i = a_i + b_i \quad (0 \leq i \leq n-1)$$

$$(a_0 + a_1X + \cdots + a_{n-1}X^{n-1}) \odot' (b_0 + b_1X + \cdots + b_{n-1}X^{n-1})$$

$$= c'_0 + c'_1X + \cdots + c'_{n-1}X^{n-1}$$

$$c''_i = c'_i - c'_{i+n} \quad (0 \leq i \leq n-1)$$

# 環上の一変数多項式環の剰余環

次数を  $n - 1$  以下に抑えるためのポイント

## Remark

$c''_0, c''_0, \dots, c''_{n-1}$  を具体的に書き下すと次のようになる:

$$c''_0 = a_0 b_0 - (a_1 b_{n-1} + \dots + a_{n-1} b_1)$$

$$c''_1 = (a_0 b_1 + a_1 b_0) - (a_2 b_{n-1} + \dots + a_{n-1} b_2)$$

$\vdots$

$$c''_{n-1} = a_0 b_{n-1} + \dots + a_{n-1} b_0$$

## Remark (環上の一変数多項式環の剰余環)

例えば,  $i = 0$  で  $c''_0 = c'_0 - c'_n$  について,  $X^n = -1$  だと便宜的に思うと,  $c'_0 + c'_n X^n = c'_0 - c'_n$  と導ける.



# 整数環の剰余上での，一変数多項式環の剰余環

## Example (整数環の剰余上での，一変数多項式環の剰余環)

$q$  を正整数， $n$  を 2 べきとすると， $(\mathbb{Z}/q\mathbb{Z})[X]/(X^n + 1)$  は，整数環の剰余上での，一変数多項式環の剰余環となる．

## Remark

$R$  という一般の環で考えていた部分を  $\mathbb{Z}/q\mathbb{Z}$  へ置き換えている．

# 整数環の剰余上での，一変数多項式環の剰余環

まずは，「整数環の剰余上での，一変数多項式環」として考えて，その後には  $X^4 = -1$  だと思って，次数を制限する

Example (整数環の剰余上での，一変数多項式環の剰余環)

$q = 6, n = 4$  とすると， $(\mathbb{Z}/6\mathbb{Z})[X]/(X^4 + 1)$  では，

$$(3 + 2X^2 + 5X^3) \oplus (5 + X + X^2 + 4X^3) = 2 + X + 3X^2 + 3X^3$$

$$(3 + 2X^2 + 5X^3) \odot (5 + X + X^2 + 4X^3) = c_0'' + c_1''X + c_2''X^2 + c_3''X^3$$

$$c_0'' = (3 \cdot 5) - (0 \cdot 4 + 2 \cdot 1 + 5 \cdot 1) = 2$$

$$c_1'' = (3 \cdot 1 + 0 \cdot 5) - (2 \cdot 4 + 5 \cdot 1) = 2$$

$$c_2'' = (3 \cdot 1 + 0 \cdot 1 + 2 \cdot 5) - (5 \cdot 4) = 5$$

$$c_3'' = 3 \cdot 4 + 0 \cdot 1 + 2 \cdot 1 + 5 \cdot 5 = 3$$

# Coeff 方式 Encode/Decode

## ① 数学の準備

- ① 整数環
- ② 多項式環
- ③ 円分多項式

## ② Coeff 方式 Encode/Decode

- ① 概要
- ② 前提
- ③ 理論的枠組み
- ④ 具体例
- ⑤ アルゴリズム

# 概要


## ① 数学の準備

- ① 整数環
- ② 多項式環
- ③ 円分多項式

## ② Coeff 方式 Encode/Decode

- ① 概要
- ② 前提
- ③ 理論的枠組み
- ④ 具体例
- ⑤ アルゴリズム

# Coeff Encode の概要

$$[3 + 4\sqrt{-1}, 2 - 1\sqrt{-1}]$$

$$3 \cdot 10 + 4 \cdot 10X + 2 \cdot 10X^2 + -1 \cdot 10X^3$$

# 前提

## ① 数学の準備

- ① 整数環
- ② 多項式環
- ③ 円分多項式

## ② Coeff 方式 Encode/Decode

- ① 概要
- ② 前提
- ③ 理論的枠組み
- ④ 具体例
- ⑤ アルゴリズム

# 記号の整理

- $\mathbb{C}$ : 複素数全体の集合
- $N$ : 2 べき  $(1, 2, 4, 8, 16, \dots)$

# 理論的枠組み

## ① 数学の準備

- ① 整数環
- ② 多項式環
- ③ 円分多項式

## ② Coeff 方式 Encode/Decode

- ① 概要
- ② 前提
- ③ 理論的枠組み
- ④ 具体例
- ⑤ アルゴリズム



# Coeff Encode の理論的枠組み

Step1: 複素ベクトルの各複素数を実数成分に分解する

$0 \leq i \leq N/2 - 1$  に対して,  $z_i = a_i + b_i\sqrt{-1}$  と分解する

Step2: スケーリング係数を掛けて, 四捨五入をする

Step1 より,  $0 \leq i \leq N/2 - 1$  に対して,  
 $a'_i = \lfloor a_i \cdot \text{scale} \rfloor$ ,  $b'_i = \lfloor b_i \cdot \text{scale} \rfloor$  を計算する

あとは, これらをまとめるだけ

# Coeff Decode の理論的枠組み

Step1: 多項式の各係数をスケーリング係数で割る

plaintext  $m = m_0 + m_1X + \cdots + m_{N-1}X^{N-1}$  に対して, 全ての係数を  $\text{scale}$  で割る

Step2: 多項式の係数である実数の組を複素数へ戻す

$0 \leq i \leq N/2 - 1$  に対して,  $m_{2i} + m_{2i+1}\sqrt{-1}$  なる変換を考える

# 具体例

## ① 数学の準備

- ① 整数環
- ② 多項式環
- ③ 円分多項式

## ② Coeff 方式 Encode/Decode

- ① 概要
- ② 前提
- ③ 理論的枠組み
- ④ 具体例
- ⑤ アルゴリズム

# Coeff Encode の具体例 Step1

## 入力

cleartext:  $[3 + 4\sqrt{-1}, 2 - \sqrt{-1}]$

scale:  $2^6$

Step1: 複素ベクトルの各複素数を実数成分に分解する

$0 \leq i \leq N/2 - 1$  に対して,  $z_i = a_i + b_i\sqrt{-1}$  と分解する

$3 + 4\sqrt{-1}$  という複素数を  $(3, 4)$  という実数の組に移し,

$2 - \sqrt{-1}$  という複素数を  $(2, -1)$  という実数の組に移す

# Coeff Encode の具体例 Step2

## 入力

cleartext:  $[3 + 4\sqrt{-1}, 2 - \sqrt{-1}]$

scale:  $2^6$

Step1 の出力:  $[(3, 4), (2, -1)]$

Step2: スケーリング係数を掛けて、四捨五入をする

Step1 より,  $0 \leq i \leq N/2 - 1$  に対して,

$a'_i = \lfloor a_i \cdot \text{scale} \rfloor$ ,  $b'_i = \lfloor b_i \cdot \text{scale} \rfloor$  を計算する

Step1 の出力の各組に対して,  $\text{scale} = 2^6$  をかけることで,

$(192, 256), (128, -64)$  を計算する

これらを多項式の係数とみて  $192 + 256X + 128X^2 - 64X^3$  を得る

# Coeff Decode の具体例 Step1

入力

plaintext:  $192 + 256X + 128X^2 - 64X^3$

scale:  $2^6$

Step1: 多項式の各係数をスケーリング係数で割る

plaintext  $m = m_0 + m_1X + \cdots + m_{N-1}X^{N-1}$  に対して、全ての係数を scale で割る

plaintext の各係数を  $\text{scale} = 2^6$  で割ると、 $3 + 4X + 2X^2 - X^3$  となる

# Coeff Decode の具体例 Step2

入力

plaintext:  $192 + 256X + 128X^2 - 64X^3$

scale:  $2^6$

Step1 の出力:  $3 + 4X + 2X^2 - X^3$

Step2: 多項式の係数である実数の組を複素数へ戻す

$0 \leq i \leq N/2 - 1$  に対して,  $m_{2i} + m_{2i+1}\sqrt{-1}$  なる変換を考える

多項式の係数を 2 個ずつの塊でみると,  $[3 + 4\sqrt{-1}, 2 - \sqrt{-1}]$  を得る

# アルゴリズム

## ① 数学の準備

- ① 整数環
- ② 多項式環
- ③ 円分多項式

## ② Coeff 方式 Encode/Decode

- ① 概要
- ② 前提
- ③ 理論的枠組み
- ④ 具体例
- ⑤ アルゴリズム



# Coeff Encode の疑似コード

---

**Algorithm** Coeff\_Encode

---

**Input:**  $(z_0, \dots, z_{N/2-1}) \in \mathbb{C}^{N/2}$ ,  $\text{scale} \in \mathbb{Z}_{>0}$

**Output:**  $m(X) = m_0 + m_1X + \dots + m_{N-1}X^{N-1} \in \mathbb{Z}[X]/(X^N + 1)$

1: **for**  $i := 0$  to  $N/2 - 1$  **do**

2:    $a_i + b_i\sqrt{-1} \leftarrow z_i$

3:    $m_{2i} \leftarrow \lfloor a_i \cdot \text{scale} \rfloor$

4:    $m_{2i+1} \leftarrow \lfloor b_i \cdot \text{scale} \rfloor$

5: **return**  $m_0 + m_1X + \dots + m_{N-1}X^{N-1}$

---

# Coeff Decode の疑似コード

---

## Algorithm Coeff\_Decode

---

**Input:**  $m(X) = m_0 + m_1X + \cdots + m_{N-1}X^{N-1} \in \mathbb{Z}[X]/(X^N + 1)$ , scale  $\in \mathbb{Z}_{>0}$

**Output:**  $(z_0, \dots, z_{N/2-1}) \in \mathbb{C}^{N/2}$

- 1: **for**  $i := 0$  to  $N/2 - 1$  **do**
  - 2:    $z_i \leftarrow (m_{2i}/\text{scale}) + (m_{2i+1}/\text{scale})\sqrt{-1}$
  - 3: **return**  $(z_0, \dots, z_{N/2-1})$
-